

令和5年度 第1回霧島市ケーブルテレビ放送運営委員会 要点会議録

日時：令和5年度9月14日（木） 午後2時～午後3時
場所：国分シビックセンター（霧島市役所） 3階 庁議室

【出席者】

運営委員：国分地区自治公民館連絡協議会	尾堂 守
溝辺地区自治公民館連絡協議会	今吉 法行
霧島市文化協会	満塩 由美
霧島市PTA連絡協議会	上福元 美和子
公募	尾花 創史
公募	山口 眞理
第一工科大学	本田 康寛
鹿児島工業高等専門学校	松田 信彦

事務局：企画部長	出口 竜也
企画部DX推進課長	野村 博昭
企画部DX推進課 主幹	二宮 紀仁
企画部DX推進課 情報化推進グループ	
	森田 兼蔵
溝辺総合支所長	藤崎 勝清
溝辺総合支所地域振興課 主幹	宗像 茂樹
溝辺総合支所地域振興課	地域振興・教育グループ
	山野 茂洋

【欠席者】

運営委員：隼人地区自治公民館連絡協議会	隈元 為次
霧島市観光協会	大重 千春

1. 開会
2. 副市長あいさつ
3. 放送運営委員及び職員紹介
4. 委員長の選任及び副委員長の指名

事務局：霧島市ケーブルテレビ放送運営委員会規則第3条第3項のとおり委員長を委員の互選により決定したいところであるが、誰か立候補される方がいらっしゃれば立候補していただきたい。

（立候補なし）

誰もいらっしゃらなければ、選出方法は、事務局一任でよろしいか。

委員一同：異議なし。

事務局：事務局のほうから本田氏を委員長として推薦したいと考えているが、よろしいか。

委員一同：異議なし。

事務局：それでは、次に霧島市ケーブルテレビ放送運営委員会規則第3条第4項のとおり副委員長を決定したいため、本田委員長のほうで指名していただきたい。

委員長：松田氏にお願いしたい。

松田委員：了解した。

以上より次のとおり決定した。

委員長 本田 泰寛

副委員長 松田 信彦

5. 放送運営委員会概要説明

事務局が、放送運営委員会の任務と委員の任期について説明する。

6. 議題

溝辺地区ケーブルテレビ運営事業の現状について

事務局が、資料3頁から6頁について説明する。

委員：資料の「ケーブルテレビ関係収支状況」は溝辺地区のみについてか。また、国分隼人エリアについて溝辺地区のようなケーブルテレビの運営委員会はないのか。

事務局：資料については、溝辺地区の内容である。国分隼人エリアについては南九州ケーブルテレビネット（MC T）が管理・運営を行っている。

委員：地域環境整備事業基金繰入金は旧溝辺町で運用していたものか。あとどれくらい持つのか。

事務局：地域環境整備事業基金繰入金は、旧溝辺町時代から引き継いで運用してきたものである。当初は積み立てることができていたが、車券販売の売上げが減少し、これにより交付金も減少したため現在は取崩している状況である。今後は繰入金に代わる歳入も必要になってくると考えている。

委員：令和4年度の新規加入者は何世帯だったのか。

事務局：15世帯であった。

委員：ケーブルインターネット廃止に伴い、契約世帯数の減少状況はいかがか。

事務局：光インターネットへの切り替えが進み、ケーブルインターネット契約者は、令和5年9月1日時点で179世帯となっている。

委員：溝辺地区エリアは南九州ケーブルテレビとは別事業という認識でいいのか。

事務局：溝辺地区エリアにおいては難視聴対策などとして設備投資を旧溝辺町で行っており、運営自体も全く異なる。放送に関しては南九州ケーブルテレビに委託している。

委員：交付金も減り、インターネット事業も終了するとなると、そこを補える手立てはあるのか。

事務局：インターネットの使用に関しては、使用料が減る分、MC Tへの委託料も減るので影響は少ないと考えている。むしろ、インターネットに関するケーブル等の

維持・管理に係る経費も多少減少し、何らかの障害が生じた場合のリスク回避を考慮している。抜本的な対応方法については、今後とも調査を行い、方向性を見極めていきたい。

委員：インターネット契約者が光回線に切り替えるにあたり、説明会は行うのか。
事務局：9月末に相談会を計画している。来られない方には順次電話等で説明している。スムーズに移行できるように今後とも考えていきたい。

委員：規則では放送番組の審議をすることとなっているが、これまでに審議したことはあるか。
事務局：導入当初は旧溝辺町の単独チャンネルがあったため、放送スケジュールについてや地域情報の取り上げ方などについて審議していた。現在は、MCTのチャンネル放送により地域情報が提供されているので、審議する具体的案件がなくなっている状況である。

委員：市民のためにケーブルテレビのサービスを継続していく上で、どうしても資金が底をついてきている。資金を増やすためになにをするかを今後議論していくべきではないか。
事務局：みなさまのご意見や研究材料も踏まえ調査研究していきたい。

委員長：全体としては、今後どうしていくかということを中心に大きな課題として共有できたのではないと思う。また、本日出された意見のような具体的な解決策というのを考えていくのも大事なのではないか。

7. その他

特になし。

8. 閉会